

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	都市漁村交流支援事業		
事業担当	産業振興部 農水産課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'02	②〈熟成〉市民の豊かな暮らしに貢献できる産業として成熟させる	
	'02	2 まちのにぎわいづくりに結びつく産業を展開する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
漁港施設の利用促進及び海洋レクリエーションが充実し、市民への漁業や海に対する理解が深まるとともに、市民から親しまれる漁業が推進され、漁業の活性化が図られています。		市民の漁業や海に関わる機会を拡大するため、各種海洋レクリエーションイベントを開催し、支援します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	都市漁村交流イベント開催回数				単位	回
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	8	10	12	12		
	実績	6	14	11			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	都市漁村交流イベント参加者数				単位	人
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	300	350	400	400		
	実績	350	700	400			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成24年度の主な取組と成果							
小学生による体験乗船や子供環境教室や新港での直売会、平塚沖や漁港周辺の観光ツアーの導入等を実施し、漁港施設の利用促進や海洋レクリエーションの活性化に取り組むことができました。							
平成24年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	イベントを実施することで市民への漁業や海に対する理解が深まり、親しまれる漁業の推進や漁港施設の利用促進に寄与しているため必要性は高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	子供環境教室や相模湾海遊体験等漁業や海に対する理解・関心を高める上で有効です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	体験乗船等のイベントは漁業者が主体的に行っており、妥当性は高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	平塚市漁業協同組合が専門性を生かし、効率的・効果的に実施していて、行政は支援する体制をとっているため効率性は高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 市民の漁業や海に対する理解を一層深めるために、交流事業の実施機会の拡充、費用及び参加者の増大を図ることが課題です。また、気象・海象に左右される事業であるため、その際の代替事業を用意することも必要になってきます。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		都市漁村交流事業への支援	都市漁村交流事業への支援	海遊クルーズの実施や(有)平塚海業支援センターの活動への支援	海遊クルーズの実施や(有)平塚海業支援センターの活動への支援
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0
執行率 (%)		—	—	—	
内訳	職員 (人)	0.40	0.40	0.40	0.40
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		3,304	3,242	3,206	3,180
フルコスト (A+B)		3,304	3,242	3,206	3,180

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針 小学生による体験乗船や子供環境教室、各種団体による海洋クルーズ等を積極的に支援・協力し、都市漁村交流を進めます。
課長コメント 民間観光会社と連携した平塚沖や漁港周辺の観光ツアーの導入等、新たな事業展開が図られました。今後も関係機関・団体との連携を強化しながら事業を推進します。